

◆日本共産党の見解を紹介します。

<http://toride.jcpweb.net>

メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

明るい取手

2014年2月9日(日)

発行 日本共産党取手市委員会
取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長/TEL:74-2004
- 加増みつ子市議/TEL:74-8154
- 遠山ちえ子市議/TEL:83-8290
- 鈴木きよし市議/TEL:74-8160
- 関戸 勇市議/TEL:78-0500

取手市民 208人

全国では 11 万 6795 人が 不服請求

茨城県全体では 1880 人

年金引下げ「不服審査請求」

我慢ならん

昨年 10 月からの年金引き下げは許さないと 1 月 31 日、全日本年金者組合が全国いっせいに不服審査請求をおこないました。前日に提出した沖縄も含めて全国 96 力所で提出行動を実施、11 万 6795 人が審査請求書を提出しました。



1 月 31 日、土浦年金事務所、県南地域の取手、土浦、つくば、牛久、竜ヶ崎の 5 支部(全日本年金者組)合わせて 669 人分が提出されました。

提出にあたり、各支部長が意見陳述。取手市の菅生支部長は「年金生活者は年金だけが収入源であり、年金が下げられることは益々生活が苦しくなるばかりです。又さらに消費税増税が

追い打ちをかけるのです。アベノミクスで景気を回復させるのであればこの引下げは取り消してもらいたい、強く要求します…」(要旨)と訴えました。

「くらしと平和を守るネットワーク取手」 発足のつどいと記念講演



2 月 1 日、「くらしと平和を守るネットワーク取手」発足のつどいが取手市立福祉会館で開かれ、市民、日本共産党市議、無所属の県議・市議ら、会場いっぱいの 100 人が参加しました。記念講演では、中日新聞京都・奈良支局長植木幹雄氏が「秘密

保護法とジャーナリズムの役割」と題し、戦争の出来る国づくりへの「秘密保護法」強行成立までの歴史と同法の危険性、国民の知る権利や取材と報道に与える影響等について語りました。講演後、会(ネットワーク)発足のつどいがおこなわれました。

つどいでは、準備会事務局の報告、参加者の中から発言等について、「市民のくらしと平和にかかわる要求の一点でも一致する団体・個人を含む広範な人々との共同を進める」目的・組織・活動等についての「申し合わせ」、会の名称、役員 13 人(宮本広美・丸山敏郎代表)が決められ、市内の労働・商工・女性・平和団体など 12 団体、政党では日本共産党が参加しスタートすることになりました。そして、「ネットワーク」への参加・共同運動を広く呼びかけて行くことが確認されました。(連絡先は根本和彦さん/電話 090-6471-7090)

不服審査請求

行政庁による違法・不当な処分その他公権力の行使に対して、「認められない」と不服を申し立て、審査を求めること。行政不服審査法に定められた国民の権利です。処分があったことを知った翌日から 60 日以内に請求する必要があります。全日本年金者組合は、請求の締め切り日である 6 日まで審査請求書を集めるとしています。

年金引き下げ

▼2013 年 10 月分以降

1.0%引き下げ実施

▼2014 年 4 月に
マイナス 1.0%、

▼2015 年 4 月に
マイナス 0.5%を予定

2013 年 10 月から 3 年間で年金を 2.5%切り下げる法律が、2012 年 11 月、国会解散直前のどさくさのなかで成立しました。高齢者の 42%、女性は 65%が年収 100 万円未満です。医療・介護保険料や税金は上がり続け、消費税も上げられようとしているとき、さらに年金を減らせば、生活できない高齢者がいっそう増えます。

臨時市議会

あれもこれも検討中…

箱ものありき、で進行中

記事は裏面に

もう 2 月だ!



一人で悩まずに お電話を TEL.72-7816

生活相談・労働相談/弁護士無料法律相談

日本がわかる。世界の動きがわかる。

しん
ぶん

赤旗

日刊 ●月 3,400 円
日曜版 ●月 800 円

臨時取手市議会

速報

あれもこれも検討中…
`箱ものありき、で進行中

1月30日から31日に臨時市議会が開催され、「ウェルネスプラザ」に関する補正予算と請願が審議されました。

- これまで明らかにされた費用は、
「プラザ」建設費約20.6億円、用地代約5億円、
設計費約0.9億円、紹介ビデオに265万円
- 致命的な問題に…駐車場はわずかの21台分
- 市外の人を取手に呼び込むと言うが…だれのための施設？



- ◇運営（直営、指定管理など）は…検討中
- ◇ランニングコストは…検討中
- ◇職員体制・人件費は…検討中
- ◇キッズプレイルームは専門職配置か…検討中
- ◇足りない分の利用者駐車場は…検討中
- ◇職員の通勤する車の駐車場は…検討中
- ◇公用車（保健センター分だけで現在10台あり）の
駐車場は…検討中
- ◇トレーニング施設の内容は…検討中
- ◇施設・駐車場などの利用料は…検討中
- ◇……

借金（合併特例債）は
駐輪場、歩行者デッキ、ウェルネスプラザ
合計17.7億円

市が作成した議会説明資料は、あたかもこの「合併特例債」の7割が交付税として国から全額が交付されるかのように記述し、`市の負担は少ない、とつくろっています。
政策推進部長は「市の収入が増えれば、交付税は減られる」、財政部長も「国が交付税を計算する段階で使われるだけ」と答弁しています。
加増みつ子議員の「この説明資料は間違っている！」の指摘に市幹部は「資料は不十分、訂正する」と約束しました。

ウェルネスプラザの建設費
（土地代含まず）
当初7億円が20.6億円に
膨らんだとして、大型の補正予算を
臨時市議会に市長が提出

- 補正予算／今回の臨時市議会でも可決したもの
 - ◇平成25年度分…8億5000万円（用地代含）
 - ◇平成26年度、27年度分として13億円（継続費）
- 「入札不調を恐れ、事業費を膨らませたのでは…」の声も



補正予算、請願に対する各議員の態度

氏名	会派名	都取手駅西口 整備事業・補正予算	関するウェルネスプラザに 関する請願
関戸 勇	日本共産党	反対	賛成
鈴木 きよし		反対	賛成
遠山 ちえ子		反対	賛成
加増 みつ子		反対	賛成
石井 めぐみ	創世クラブ	賛成	反対
川又 貞男		賛成	反対
山野井 隆		賛成	反対
吉田 宏		賛成	反対
入江 洋一		賛成	反対
佐藤 隆治		賛成	反対
倉持 光男		—	—
渡部 日出雄	はやぶさ	賛成	反対
金澤 克仁		賛成	反対
佐藤 清		退席	反対
赤羽 直一		賛成	反対
落合 信太郎	公明党	賛成	反対
染谷 和博		賛成	反対
阿部 洋子		賛成	反対
齊藤 久代		賛成	反対
市村 達明	みんなの会	反対	反対
池田 慈	とりで生活者ネットワーク	反対	賛成
飯島 悠介	彰考会	反対	賛成
結城 繁	志正会	反対	賛成
平 由子	民主党	賛成	反対

■倉持光男市議は、議長につき採決に加わらず。

構想はじっくり審議、説明責任果たせ、市民の意見反映を

紹介議員 池田 慈、遠山智恵子、飯島悠介
「ウェルネスプラザ」に関する請願
＜請願趣旨＞
2011年7月開催の臨時議会に、「ウェルネスプラザを核施設とする「ウェルネス・タウン取手の創造」に関する関係予算が初めて上程され、38億円の「構想」全体の概算総事業費が示され、同時期の住民説明会でも同様の説明が行われました。この臨時議会には「ウェルネス・タウン構想」の中止を求める請願も提出されましたが、関係予算は可決されました。
2012年7月には「ウェルネスプラザ」整備計画案についてのパブリックコメントが実施されましたが、パブリックコメントを呼びかけた7月1日付取手市広報では、保健センター統合移転、12億円の建設関係事業費と財源内訳、プラザ自体の駐車場が22台しかない等の重要な内容が示されませんでした。それにもかかわらず取手市政始まって以来の180件の意見が寄せられ、83%が計画に反対意見であることがマスコミでも報道されました。
全体計画の総事業費は概算で当初の住民説明から41億円に膨らみ、その後も「プラザ」「駐輪場」「歩行者デッキ」と事業費は膨れ上がり、現時点の全体事業費は概算で46億円となっており、すでに当初の38億円から8億円も膨らんでいます。その上、2014年1月末招集が予定されている臨時議会には、「ウェルネスプラザ」建設費をさらに拡大する補正予算が計上されるとのことです。これまで、関係事業に関し、市民からの請願・陳情、住民監査請求、さらには住民訴訟、また議会内外で繰り返しその目的と事業の進め方等での批判的な論議が絶えることは有りませんでした。

そのような動きが続いたにもかかわらず、取手市がこの計画に対して十分な説明を行ってきたかという、到底十分な対応と言えるものではありませんでした。「市に任せておけばよい」とばかりに、市民は置き去りにされた感が否めません。また、市の財政が苦しいという現状の中、「ウェルネスプラザ」にこれだけのお金と労力をかけることが、取手市政の優先順位として正しいのかどうか疑問です。
そもそも「ウェルネスプラザ」については、計画策定と実施計画の不透明さ、建設・財政（資金）計画のずさんさが問題ですが、加えて、年度途中での大型補正は、予算の編成ルールからも認められるものではありません。
＜請願事項＞
一、ウェルネス・タウン構想は市の最上位計画（基本構想）および合併時の新市建設計画に違反する構想であり、市民の合意も得られていないことから、「ウェルネスプラザ」建設を一旦中止し、構想自体を議会でじっくり審議しなすこと。
二、基本構想・新市建設計画の変更が議会で可決され、ウェルネス・タウン構想に変更された場合は、市民に対して「ウェルネスプラザ」建設の意義を再度説明し、詳細設計と確定した事業費及び財源内訳を市民に明らかにしたうえで再度パブリックコメントを実施すること。
三、パブリックコメントの実施に当たっては、「賛否を問うものではない」と一蹴するのではなく、市民の意向を十分に組み入れ、反対意見が多い場合は計画を再考すること。（請願人925名）